

報道関係者 各位

放送批評懇談会

**発表！2021年8月度ギャラクシー賞月間賞**

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで59年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年の受賞作を決定いたします。2022年6月初旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース (<https://houkon.jp/galaxy-database/>)」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

放送批評懇談会

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS



<お問い合わせ先>

NPO法人 放送批評懇談会／担当：福島
〒160-0022 新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F
Tel：03-5379-5521 Fax：03-5379-5510
kondankai@houkon.jp <https://www.houkon.jp/>

放送批評懇談会



2021年8月度ギャラクシー賞月間賞

NHKスペシャル「原爆初動調査 隠された真実」

8月9日放送 22:00~23:15 日本放送協会

広島・長崎での残留放射線が、その初動調査で確認されていたにもかかわらず、政治的・軍事的動機によって隠されてきたことが、しっかりとした取材と資料分析で明らかにされる。科学的証拠が政治の力の前に消えていく様を緻密に追ったことで、真実を隠してゆくプロセスとその恐ろしさを訴えた。

ドキュメンタリー「解放区」李鶴来（イ・ハンネ）不条理と闘った男」

8月15日放送 24:58~25:58 TBSテレビ

日本人としてBC級戦犯の汚名を受けた韓国人の李鶴来。釈放後、外国人だからと一切の補償を受けられなかったその不条理さを訴え続けた姿を長期にわたって追った。「都合の良いときは日本人。都合の悪いときは朝鮮人」と日記に書き綴られたこの言葉は、終戦から76年を経た今も心に突き刺さる。終戦の日に異彩を放ったドキュメンタリー。

BS1スペシャル「マッカーサーが来るまでに何があったのか？ 終戦直後の15日間」

8月21日放送 22:00~22:50 日本放送協会 テレビ朝日映像

玉音放送からマッカーサーの厚木飛行場到着までの15日間、市民はなにをしていたかが、資料をもとに活写されている。敗戦という大きな困難のなかにあって、市民がそれぞれの思いや願いを抱きながら新たな一歩を踏み出す姿には、感動的なものがある。内容の面白さと同時に、終戦直後の知られざる歴史に着目した試みとして興味深い。

E TV特集「“玉砕”の島を生きて～テニアン島 日本人移民の記録～」

8月28日放送 23:00~24:00 日本放送協会 グループ現代 NHKエンタープライズ

日本の各都市への空襲に向かうB29、原子爆弾を積んだ爆撃機が飛び立ったテニアン島。「玉砕の島」と言われたこの島で生き残った人々に20年以上の長期取材でたどりついた最後の証言には衝撃を受けた。集団自決について淡々と語る女性がついに話せなかった事実、戦争の恐ろしさ、計り知れない闇を感じる。

★詳細は月刊誌「GALAC」2021年11月号に掲載します